

IIW Annual Assembly & International Conference に参加して



目で見る
海外論文発表

光 藤 健 太*

Oral Presentation at IIW Annual Assembly &
International Conference

Key Words : Welding, Numerical calculation

<参加会議名>

71st International Institute of Welding Annual
Assembly & International Conference

<開催場所>インドネシア ヌサ・ドゥア

<渡航期間> 2018年7月15～7月22日

<発表タイトル>

Development of Numerical Model for FSW
Dissimilar Material Joining with Particle Method

私は7/15～7/20の期間にインドネシアで開催された、71st IIW2018 Annual Assembly & International Conferenceに参加し、研究成果に関する口頭発表を行いました。IIWへの参加は今年で2度目でした。IIWは、世界最大規模の溶接関連の学会で、多くの人が様々な研究成果を携えて参加する溶接に関する国際会議です。会議は24のコミッションやワーキンググループからなり、それぞれで多くの研究成果が発表されました。私は電磁気や流体の数値計算が専門ですが、流体計算技術を応用した溶接プロセスの数値計算について発表しました。溶接は、職人さんがいとも簡単にやってしまうように見えてしましますが、実は多くの現象が複雑に絡み合う非常に難解なプロセスです。近年では、そうした溶接に対する数値計算からのアプローチが増えています。私が対象としているものは摩擦攪拌接合という比較的新

しい技術ですが、興味を持って発表を聞いていただきました。

また、普段は主に電気関連の学会に参加している私にとって、異なる分野の世界の研究者との交流は非常に大きな刺激となりました。分野ごとに学会の雰囲気が違い、また似たようなアプローチで全く異なる現象を追っている研究を目の当たりにし、学生のうちに多くの分野で見聞を広めることも良いことだと感じました。また、世界中の高レベルな研究成果に触れ、国内のみならず、世界水準の視野が求められると感じました。

最後に、支援を賜りました生産技術振興協会様及び日頃のご指導を賜りました平田勝弘教授と宮坂史和准教授に心からお礼申し上げます。



図1 発表の様子



図2 質疑応答



図3 Indonesian night

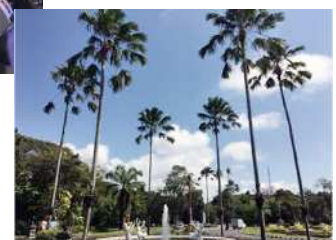


図4 ヌサ・ドゥア市内



* Kenta MITSUFUJI

1991年12月生まれ

現在、大阪大学大学院 工学研究科 知能機能創成工学専攻 博士後期課程3年
工学修士 電磁気学、数値計算、流体力学

TEL : 06-6879-7553

FAX : 06-6879-7553

E-mail : kenta.mitsufuji@ams.eng.

osaka-u.ac.jp